

# JGA 全国通訳案内士研修テキスト【2】 関東(清水港)

## エリア別案内マニュアル 改訂 2026 年 1 月

### 目 次

1. 実習にあたって .....	1
2. 都内 .....	3
3. 日光 .....	42
4. 富士山・箱根 .....	53
富士山エリア .....	55
箱根エリア .....	60
5. 鎌倉 .....	70
6. 横浜 .....	77
7. 清水港からのショアエクスカージョン .....	92

この冊子は、一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）の全国通訳案内士新人研修会をはじめとする研修のテキストとして使用しています。

本テキストは 2026 年 1 月 10 日現在のデータ・事情に基づいて編集しています。施設の環境や各種サービス、規則等の運用ルール、その他の諸事情は、刻々と変わっていきます。常に下見や確認をし、最新の情報を得るよう心がけてください。特に 2024 年以降は各種料金の値上げ、電子チケットの導入、サービスや手続きの無人化（自動化・セルフサービス化）が目立っています。施設の新規オープンも増えています。利用する前に必ずその時点での状況を確認してください。

4号新宿線を走行時の車窓や、都庁や六本木ヒルズの展望台などから望むことができる。

イベントのない日に有料のスタジアムツアーを実施している(約90分。大人2,500円、高校生以下1,500円。ロッカールーム、トラック、VIPエリア、展望デッキなど)。実施日、チケット購入はHPで確認のこと。団体先行予約あり。<https://kokuritu-tours.jp/>

### 日本オリンピックミュージアム ☎03-6910-5561

国立競技場の傍に2019年9月オープン。日本スポーツ協会と日本オリンピック委員会の本部ビル JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内にあり、屋内の Exhibition Area (2階)、Welcome Area (1階) と屋外の Monument Area で構成。10:00~17:00。月曜休館。一般500円、65歳以上(要証明書)400円、高校生以下は学生証提示で無料。20名以上の団体は400円、事前予約が必要。コロナ禍中の日時指定予約制は終了し、個人は予約なしで入れる(混雑時は待つことがある)。団体は2階→1階の一方方向の見学動線、個人は順番自由。原則再入館はできない。

### 【渋谷】

いわゆる観光施設は多くないが、「スクランブル交差点」と繁華な街の姿を目当てに訪れる人が多い。ハチ公像との記念撮影は行列となっている。渋谷駅周辺は現在、「百年に一度」といわれる大規模再開発が進んでおり変化が著しい。2020年に銀座線ホーム、JR 埼京線・湘南新宿ラインのホームが移動し、2023年11月全ての線路切換工事は完了したが、駅と周辺の工事中は乗り換えルートや駅から各方面への出口・連絡通路なども度々変わるので注意。JR 渋谷駅の改札内は複雑なのでエレベーターなどのバリアフリー施設は要下見。駅からつながる高層の大型複合施設 Shibuya Sakura Stage が2024年にオープンした。

- ・スクランブル交差点を俯瞰する写真ポイント:交差点に面したスターバックス、井の頭線渋谷駅(マークシティ)とJR 渋谷駅を結ぶ通路(岡本太郎の壁画「明日の神話」が設置されている)など。
- ・スクランブル交差点に面する MAGNET by SHIBUYA109 の屋上は、1人1ドリンク付1,800円 CROSSING VIEW & ROOFTOP LOUNGE MAG8 (10:00~22:00)となった。☎080-9194-6496
- ・渋谷パルコ:6階にNintendo(混雑時は整理券制となることもある)、ポケモンセンター渋谷(レジ待ち1時間も起こる。混雑予想日に整理券が配布されることもある。Tシャツをデザインするポケモンデザインラボは受け取りまで時間かかるので注意)、JUMP SHOP、刀剣乱舞万屋本舗、カプコンストアトーキョー、など。
- ・2024年6月に UESHIMA MUSEUM オープン。現代アート作品を公開。
- ・神泉エリア(裏渋谷通り)に飲食店ビル QLINK 渋谷神泉が2025年12月にオープンした。

### SHIBUYA SKY (渋谷スクランブルスクエア) ☎03-4221-0229

2019年11月開業の高層ビル渋谷スクランブルスクエア(東棟)にできた展望施設。約2,500㎡の広さをもつ開放的な屋上スペースは、渋谷で一番高い地上約229m。代々木公園、外苑などを望む他、眼下に渋谷の混み合った街並みが広がる。やや小さくなるがスクランブル交差点も見られる。

- ・チケットは日時指定で、20分毎の入場時間枠指定となる。12歳以上の大人は、公式サイトから購入できる Web チケットで14:59までの入場2,700円、15:00以降入場3,400円。残枠があれば当日窓口でも販売するが、15:00までの入場3,000円、15:00以降3,700円。小人チケット(12歳の小学生を含む)は当日窓口でのみ販売で1,200円。5歳以下(6歳でも未就学児含む)は無料。公式サイトで購入のチケット(Webket)の場合、前日まで無料でキャンセル可能。入場時間帯に屋上が開鎖の場合に限り当日でも入場前までは無料でキャンセルできる。複数名を一括購入している場合、部分的なキャンセルはできない。

## 【富士山エリア】

### 富士山

日本のシンボルであり、「富士山を見る（写真を撮る）」のは訪日旅行者のほとんどが望むこと。北斎や広重の木版画や、桜と富士の写真は海外でも広く紹介されている。古来、霊峰として信仰の対象であるとともに、噴火や火山活動が人々の営みに大きく影響を与えてきた。コロナ禍前の富士山の夏季の登山シーズンには 20～30 万人の登山者が訪れ、海外からの登山者も多い。車で上れる五合目付近まで訪れる観光客は年々増加傾向にある。夏季にはマイカー規制が行われ、また渋滞も起こることに注意が必要。2013 年 6 月 22 日、富士山は関連する文化財群とともに「Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration / 富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の名で世界文化遺産に登録された。

#### 一口メモ：

富士箱根伊豆国立公園（1936 年富士箱根、1955 年伊豆）：全体 121,695ha

#### 富士山

山頂海拔：3,776m（二等三角点 3,775.51m） 富士山頂の県境は未定

山頂火口：周囲約 3km、直径南北約 800m、東西約 500m、深さ約 230m、約 2,200 年前の噴火口、お鉢巡り約 1.5 時間、八つの峰が蓮華の形＝極楽浄土。

山頂平均気温：7 月 4.5℃、8 月 6.0℃。

山頂気圧： 平地の 2/3、沸点 87.8℃。

お中道周囲（海拔約 2,500m）：約 17km 森林限界

山麓周囲：約 153km

4 つの登山道：吉田ルート、須走ルート（八合目で吉田ルートと合流）、御殿場ルート、富士宮ルート

3 つのプレートが地下で接する位置に存在。

活火山、最後の噴火は 1707 年宝永の大噴火。100 以上の側火山（寄生火山）。大沢崩れ。

4 層の成層火山：先小御岳火山（数十万年前～十萬年前）

小御岳火山（20 数万年前～10 数万年以前に活動したと推定される）

古富士火山（10 万年程前に小御岳の中腹で誕生。今の富士山の原型）

新富士火山（約 1 万年前から噴火が始まり成長）

青木ヶ原： 864 年（貞観 6 年）の長尾山の噴火による溶岩流跡。溶岩洞穴。溶岩樹形。

		(水面標高)	(周囲)	(最深)	(面積)
富士五湖：	山中湖	980.5m	13.87km	13.3m	6.57 km <sup>2</sup>
	河口湖	830.5m	20.94km	14.6m	5.48 km <sup>2</sup>
	西湖	900m	9.85km	71.7m	2.1 km <sup>2</sup>
	精進湖	900m	6.80km	15.2m	0.5 km <sup>2</sup>
	本栖湖	900m	11.82km	121.6m	4.7 km <sup>2</sup>

忍野八海： 富士溶岩岩塊の下から湧出。水温年間 12～14℃。

人間との関わり： 富士山本宮浅間大社（静岡県側）、北口本宮富士浅間神社（山梨県側）  
神道、修験道、御師（おし）の家、富士講、富士塚。

## 6. 横 浜

江戸末期までは、入り江（現在の横浜市中心部）に突き出た半島にある小さな村だった（当時の中心は神奈川宿・神奈川湊）。1854年の日米和親条約（通称 Kanagawa Treaty）締結時に協議の場となり、1858年の日米修好通商条約を機に開港場や居留地が設置されたことで、その後大きく発展した。横浜港の開港は公式には1859年。1989年にはMM21地区で横浜博覧会 YES'89（市制100年、開港130年）、2009年には開国博 Y150（市制120年、開港150年）が開催された。

現在の横浜市は、東京特区部の約995万に次ぐ人口約377万人を擁し、東京とともに巨大都市圏を形成している。（大阪市よりも人口が多いが面積も2倍近い。人口密度では大阪市より低い。）東京駅～横浜駅は約30km、JR在来線で25～40分前後。私鉄各線のアクセスも良い。近年の新線開通で新横浜駅と都心の連絡がよくなり（2023年3月相鉄線西谷駅～東横線日吉駅に連絡線を新設。相鉄・東急線相互直通「新横浜線」、新駅「新綱島駅」）、2023年には東海道新幹線で新横浜駅始発の臨時列車のぞみ491号が運行開始となった。利便性に加え、あかぬけたイメージがあり、各種アンケートの「住みたい街ランキング」では1位または上位の常連でもある。

横浜港は日本有数の国際貿易港。需要が拡大するクルーズ客船の拠点港を目指して整備が進められてきた。大さん橋に加えて、2019年4月には超大型客船も着岸できる大黒ふ頭に客船ターミナルが整備され、秋には新港ふ頭客船ターミナル（横浜ハンマーヘッド）がオープン。2020年以降、本牧ふ頭、山下ふ頭を合わせた5つのふ頭で、一度に最大7隻を受け入れ可能となっている。その後のコロナ禍で7隻同時着岸の実績はまだないが、2023年4月28日、2025年4月28日に5隻が着岸した。2024年4月には日本で初めて同じ月内に2度の4隻同時着岸（13日と27日）があった。2019年には、客船の寄港する土日祝日を基本とする特定日時に、横浜ベイブリッジの横浜スカイウォークが9年ぶりに開放され、通過する客船を見物できるようになった（リニューアルを経て2022年6月に再オープンした）。

2019年ラグビーW杯、2020東京五輪の開催を契機に、さらなる開発が進んだ。オリンピックの野球・ソフトボール会場となった横浜スタジアムは収容人数29,000から35,000へ6,000人増席。2019年9月にはみなとみらい21（MM21）地区に1棟の客室数日本最大（2,311室）のホテルも開業した。2020年には、桜木町駅前と新港地区（運河パーク駅）を5分で結ぶ630mのロープウェイ横浜エアキャビンが開業した。関内地区は、横浜市庁舎が桜木町へ移転したことも相まって、かつての活気は薄れたが、野毛地区の飲み屋街が昨今、若者の夜の人気エリアになりつつある。

クルーズ客船からのショアエクスカージョンや、パシフィコ横浜（横浜国際平和会議場）などでの国際会議やイベント参加者を対象としたツアーなど、横浜発着の観光もあれば、見本市・展示会への参加や客船への送迎に伴う観光の形もあり、時間も訪問先も多様。東京からの日帰りや、鎌倉や箱根と組み合わせることもある。横浜発着で都内や鎌倉の日帰り観光をする場合にも、横浜の紹介が必要になる。

日本人にとっての横浜観光の魅力やイメージは、開港場・外国人居留地であった歴史や異国情緒などによるところも大きい。訪日客に横浜をどう紹介するか、さまざまな切り口やキーワードを探ること。

\*東京・鎌倉・箱根エリアと結ぶルートについては4 富士山・箱根の項を参照。

\*クルーズの仕事や客船ターミナルについては、テキスト【1】「クルーズ」参照

(参考)

- ・横浜の観光面での課題の一つは宿泊客が少ないこと。横浜市の発表では、2024年は約3,773万人が横浜を訪れたがその約9割の3,263万人が日帰りであった。平均消費額は日帰り客6,077円/人、宿泊客50,553円/人で7倍以上の差がある。また前市長（2021年8月迄任期）が掲げたIR誘致は現市長の公約で撤回され、その後はMICEが期待されること、国際会議などによる外国人誘致は